



志村学園

令和8年7月1日
東京都立志村学園
校長 並木信治
高等部就業技術科
第4号

雨に、願いを

校長 並木 信治

梅雨空の続く季節となりました。雨の日が多いこの時期ですが、校内では子供たちが元気に学習や部活動に取り組む姿が見られます。雨に潤された木々や草花が力強く成長するように、子供たちも日々の学校生活の中で、一歩ずつ着実に成長しています。

7月7日は七夕です。七夕には短冊に願いを書き、笹竹に飾る風習があります。今年も、図書室に笹を飾りました。子供たちがそれぞれの願いを思い描く機会となることでしょうか。願いは一人一人異なります。しかし、その一つ一つには、自分らしい未来に向かおうとする前向きな気持ちが込められています。

志村学園では、「働くステキな大人」を育てることを大切な目標の一つとしています。ここでいう「働く」とは、いわゆる仕事に就く、ということだけを意味するものではありません。家庭や地域の中で自分の役割を果たし、人とかかわりながら、自分らしく生きていくということです。そのために必要な知識や技能だけでなく、挨拶や思いやり、困ったときに助けを求める力なども育てています。

私は、「桜梅桃李」という言葉を大切にしています。桜には桜の、梅には梅の、桃には桃の、李（すもも）には李の美しい花があるように、人にもそれぞれの個性や良さがあります。他人と比べるのではなく、自分らしい花を咲かせることが大切です。そして、その成長を支えるのが「継続は力なり」の精神です。毎日の学習や実習、友達との関わり、生活の積み重ねが、やがて大きな力となり、自信となって将来につながっていきます。

あと2週間ほどで、夏休みです。子供たち一人一人が有意義な時間を過ごし、また元氣な笑顔で9月を迎えられることを願っています。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御支援をよろしくお願い申し上げます。



学科説明会

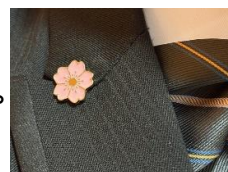
相談支援部主任 分部 実香

6月初めから実施されている学科説明会では、毎年介護コミュニケーションコースの3年生が、玄関から会議室まで参加される方々を御案内する「アテンド」の仕事をしています。今年も一ヶ月以上前からオリエンテーションを行い、練習を重ねた上でテストを行いました。基準をクリアした生徒は胸に桜のバッジを付けてアテンドを行っています。初回は緊張した面持ちでしたが、回を重ねることに御来校の皆さまへの言葉掛けが自然なものとなり、「思いやりのある言葉に感動しました」とお褒めの言葉をいただきました。生徒たちにとって何よりの自信となり、益々成長が期待できる学習の場となっています。

学科説明会では、生徒による職業に関する教科体験の紹介や部活動の紹介を行っています。

今月は、流通・都市農園芸サービスコース、食品加工エコース、サッカー部の紹介を行いました。

大勢の人の前で話すことは緊張しましたが、自分たちで話すことを考え、本番の堂々とした立ち居振る舞いに頼もしさを感じています。学科説明会は、中学生・保護者の方々に志村学園の良さ、ありのままを紹介できる機会であり、日々の積み重ねで成長した生徒たちを間近に感じることができる機会です。在校生にとっても素敵な学習の場となっています。



東京都障害者スポーツ大会結果及び全国障害者スポーツ大会選手派遣について

生活指導部 井上 大久

5、6月に第27回東京都障害者スポーツ大会が実施されました。結果は以下のとおりです。

陸上競技部 5月23日(土) 24日(日)	ジャベリックスロー:大会記録更新 女子100m:大会記録更新 男子800m:優勝 女子4×100mリレー:優勝 男子4×100mリレー:優勝
卓球部 5月24日(日)	入賞はありませんでした。
バレーボール部 5月30日(土)	女子:3位 男子:入賞はありませんでした。
サッカー部 5月31日(日)	vs 永福FC ●0-1 / vs Bbird ●3-4

また、6月13日(土)、14日(日)に行われた第31回日本ID陸上競技選手権大会の結果は以下の通りです。

女子100m:日本3位 男子やり投げ:日本3位

なお、バスケットボール部は8月4日(火)、5日(水)に大会への参加予定です。各部活動とも引き続き御理解と御支援のほど、よろしくお願いいたします。

最後に、今年の全国障害者スポーツ大会(愛称:青の煌めきあおもり障スポ)は10月23日(金)~26日(月)に青森県で開催されます。本校からは生徒2名・教員2名が東京都選手団として参加予定です。

保護者対象セーフティ教室

生活指導部 三屋 みどり

5月29日(金)全学年保護者会開催に併せまして、志村警察署巡查長、スクールサポーターを講師にお招きし「保護者対象セーフティ教室」を実施いたしました。近年、スマートフォン、SNS利用によるトラブルや詐欺被害、闇バイト等に若年者が巻き込まれる事件が多発しております。講師からは実際に起こった事件等を例に、最新情報を講義していただきました。これらは決して遠くで起きていることではなく、身近なこととして捉え、周囲の大人がその危うさを知り、意識を高めていくことが必要であることもお伝えいただきました。保護者の皆様におかれましては、講義や動画の内容を、ぜひ心に留め置いていただければと思います。また年度当初には、SNSルールの策定をお願いいたしました。各御家庭におかれましては、すでに取り組んでいただいているところではありますが、節目ごとにSNSルールの見直しをしていただいたり、日頃からスマートフォンの活用について把握していただいたり、生徒が犯罪やトラブルに巻き込まれることのないよう、未然防止に努めていただきますよう御協力をお願いいたします。

生命(いのち)の安全教育

学科主任 橋爪 淳

学校における性に関する指導は、学習指導要領に基づき、生徒が性に関して正しく理解し、適切に行動をとれるようにすることを目的としており、保健体育や特別活動をはじめ、学校教育活動全体を通じて指導することとなっています。(文部科学省資料より) また、指導に当たっては、①発達の段階を踏まえること、②学校全体で共通理解を図ること、③保護者の理解を得ることなどに配慮するとともに、④事前に、集団で一律に指導(集団指導)する内容と個々の生徒の状況等に応じ個別に指導(個別指導)する内容を区別しておくなど、計画性をもって実施することが大切となります。

これらを踏まえて、本校では、東京都教育委員会「性教育の手引」に基づき、「生命の安全教育」の推進を図り、ステキな大人になるために、社会的スキルと適切な人間関係を学び、「自己と他者を知り、社会で生かす」ことにつなげていきます。引き続き、保護者の皆様の御理解と御協力のもと、進めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

